

(様式5)

市民意見募集手続の結果について

1 計画等の案の名称 上田市都市計画マスタープラン改定(案)

2 募集期間 令和5年11月20日(月曜日)から令和5年12月22日(金曜日)まで

3 実施結果

(1) 件数 44件(7人)

(2) 提出方法

持参	郵便	電子メール	ファクシミリ	計
0件(0人)	3件(1人)	41件(6人)	0件(0人)	44件(7人)

4 意見に対する市の考え方等

(1) 意見の区分

種別			件数
ア	計画案に反映する意見	意見等の内容を踏まえ、案の修正等を行ったもの	9件
イ	計画案と趣旨同一の意見	意見等の趣旨が、案に盛り込まれているもの	2件
ウ	参考とする意見	案を修正しないが、施策等の参考にするもの	11件
エ	その他	その他意見(質問等を含む)	22件
合計			44件

(2) 意見に対する市の考え方

※類似の意見はまとめて回答しているため、提出件数と一致しない場合があります。

ア 意見等の内容を踏まえ、計画案の修正等を行う

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	P6 財政	財政の表現がかなり控えめで、あまり大きな問題がないような印象を与える。資料編にはグラフと簡単な解説があるが、どのくらい厳しい状況か市民には判断がつかない。市民が理解できるよう、わかりやすくはっきりと記載していただいた方がよい。 また、都市計画は固定資産税など自主財源の増加やインフラコストの削減など財政の安定化に関わる重要な計画であるといった記載も必要である。	公共施設等の予算の推計については、別途「上田市公共施設マネジメント基本方針」に記載しています。当該計画では今後40年間で現状に対して公共施設の建築物は約1.5倍、道路・橋梁は約2.0倍の予算が必要であると推計しています。 いただいたご意見を踏まえて、資料編に公共施設の更新・改修に係る将来費用の推計を追加するとともに、都市計画は財政に関わる重要な計画であることを記載します。 (P56)

2	P8 高校生アンケート	概要表記とのことだが、詳細結果が書かれている書類名や URL を追加してほしい。	いただいたご意見を踏まえて、資料名「上田市都市計画マスタープラン・立地適正化計画高校生アンケート調査結果報告書」を記載します。なお、本報告書については、市HPにて都市計画マスタープラン及び立地適正化計画とあわせて公表いたします。(市民アンケート結果についても同様)
3	P19～20 イラスト	<p>(P19 のイラスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての屋根に太陽光パネルや太陽熱温水器が搭載 ・郊外の住宅地に集合住宅 ・郊外に自転車専用レーン ・もっとベンチを増やす ・まちなかの絵にはもっと緑を増やす <p>(P20 のイラスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの絵に車イスの方も描いてはいかがか。 	<p>P19 の「～将来都市のイメージ～」及び P20 の「～魅力ある都市づくりを目指して～」のイラストについて、以下の点を修正させていただきます。</p> <p>①P19:まちなかのイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルの追加(一部) ・ベンチの追加 ・緑(植栽)の追加(一部) <p>②P19:郊外の住宅地のイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルの追加(一部) ・集合住宅の追加(一部の戸建て住宅と変更) <p>③P19:集落部のイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルの追加(一部) <p>④P20:まちなかのイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車イスの方を追加
4	P20 イラスト	コメント「バスなどの公共交通が充実して移動がしやすいね」は、「バスや電車などの」と電車も入れてはいかがか。	いただいたご意見を踏まえて、コメントを「バスや電車などの公共交通が充実して移動がしやすいね」に修正させていただきます。
5	P21 イラスト	2044 年までの計画のため、自動運転 EV バス、自動運転 LRT なども登場させたほうが良い。また、地域公共交通計画との整合はいかがか。	<p>当該イラストは、公共交通を利用することで、渋滞が解消されることを示したイメージ図であり、特定の車両を示すものではありません。</p> <p>地域公共交通計画との整合を図り、EV 車両について以下のとおり修正させていただきます。</p> <p>・P38:「<都市づくりの目標2>方針1 (3) だれもが利用しやすい公共交通網の整備方針」</p> <p>⇒「関係機関や事業者などと連携しながら、高度情報技術などを活用した公共交通の利便性の向上を図るとともに、公共交通における EV 車両の導入を推進します。」</p>

6	P22 写真	「261」、「柳町朝カフェ」などのイベントの名称を写真に記載してはいかがか。	いただいたご意見を踏まえて、以下のとおり修正させていただきます。 ・「▲旧北国街道柳町(柳町朝カフェ)」 ・「▲海野町商店街(海野町まつり)」 ・「▲リノベーションした店舗に集まる人々(261(にーろく市))」
7	P38 公共交通	「自動車に依存しない交通体系」「駐車場の配置の適正化」の文末が他と違い、「検討します。」となっている。重要で早急の対応が迫られている内容と考えているため、「構築します。」「推進します。」とするべきである。	いただいたご意見を踏まえて、以下のとおり修正させていただきます。 ・「自動車に過度に依存しない交通体系を構築します。」 ・「公共交通と接続するなど、駐車場の配置の適正化を推進します。」
8	関連計画	上田市脱炭素先行地域に採択されたことについて、本計画案と関連している内容を開示してほしい。	令和5年11月に上田市が脱炭素先行地域に選定されたことを踏まえ、関連する内容を追加いたします。

イ 意見等の趣旨が、案に盛り込まれているもの

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	P10 脱炭素	全体を通して、「脱炭素」「ゼロカーボン」が、「環境課題」の位置付けになっている印象である。コラムや注釈書きなどに「気候変動/脱炭素は、すべての課題に共通の問題であり、脱炭素の達成はそれぞれの課題の解決につながるものです」と書き込むのはいかがか。	脱炭素化の取組については、複数の分野の課題を解決するものであり、今後極めて重要な取組であるという認識です。本計画案において、脱炭素に関する記載については、以下の箇所に記載しております。 ・P14:「5—3 将来都市構造」 ・P38:「<都市づくりの目標2>方針1(3)だれもが利用しやすい公共交通網の整備方針」 ・P41:「<都市づくりの目標2>方針2(4)公共公益施設の整備方針」 ・P42:「<都市づくりの目標3>方針1(2)自然環境の保全と活用方針」
2	P10 都市づくりの課題	5つの課題と脱炭素のつながりを明確にしてほしい。	5つの課題について、「脱炭素」のみに対してつながりを記載することは難しいですが、脱炭素化の取組については上記のとおり記載があり、それぞれの課題と関連性が深く、複数の分野の課題を解決するものであると認識しております。

ウ 案を修正しないが、施策等の参考とするもの

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	P8 高校生ア	「県外に住みたい理由として働きたい場所が本市にはないが多く」とあるが、上田	今回のアンケートでは詳細な内容まで聞き取れていませんが、自由回答の中に「就

	アンケート	<p>市内の働き場を知らないだけか、又は大企業を希望しているということか。</p> <p>前者の場合、市内の働き場を紹介できる機会をさらに増やし、見える化をしたらいかがか。また、魅力ある働き場を増やしていくことに繋がられないか。</p>	<p>職したい場所が県外にある」といった意見がございます。</p> <p>市内企業の紹介や PR の方法について、いただいたご意見を関係部局と共有してまいります。</p>
2	P18～P23, P26～P29 人口集積	<p>「魅力ある都市づくり」のためには、第一に人口集積／人口密度。伝統的に都市は、130 人～150 人/ha が基準で、欧州の多くの中心市街地はこの数字を目標としている。</p> <p>各地域に多様な要素があることで、さまざまな用事で訪れ滞在する人を増やすことができる。歩いて 15 分の範囲でほぼ全ての用事が済ませるといふ「15 分都市」も可能である。さらに歩く人が多いと地元の商店に訪れる人が増える。</p> <p>「人口集積」「多様な用途が各地域に」はもっとイラストや本文で強調したらいかがか。</p>	<p>魅力ある都市づくりや持続可能な都市づくりのためには一定の人口密度を維持することは必要と考えます。本計画案では、P14 に示すとおり「ネットワーク＋多極・拠点集約型都市構造」の形成を目指しており、既存の各拠点においても多様な都市機能や居住を維持する方針としています。</p> <p>人口減少が想定される中で、「立地適正化計画」にて現状の上田居住誘導区域の人口密度(37.66 人/ha)を維持していくことが現実的な目標となっておりますので、いただいたご意見のまちづくりを推進してまいります。</p>
3	P23 自転車通行指導帯	<p>自転車通行指導帯はぜひ実施してほしい。路地や裏道、生活道路ではゾーン 30 も実施してはいかがか。</p>	<p>いただいたご意見は、関係部局と共有し、今後の検討課題とします。</p>
4	P32 自動車道路網の整備	<p>自動車道路に関しては、今後の厳しい財政状況、温暖化対策などの面から、これ以上拡大させるのではなく、逆に縮減すべきと考える。自転車レーンやバス専用レーンの充実、BRT 路線の追加などでも課題を解決できるものが多い。</p> <p>例えば、集落単位で相乗りでの自動車を利用するのも有効で、渋滞対策、温暖化対策にもなるが先進的に取り組むのはいかがか。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進行する中でこれまでの自家用車中心の社会から公共交通や自転車などへの転換を進める必要があると考えており、未整備の都市計画道路については、既存ストックの活用や必要性の検証を行い、必要に応じて縮小も含めた見直しを行います。(P32(1)基本方針)</p> <p>集落単位での相乗りの自動車利用について、一部地域では取り組み始めております。</p>
5	P32 道路網の整備	<p>交通政策で「渋滞」が起きるのが失敗だと考えるのは間違っており、逆に「成功」と考える。渋滞が起きることで、相乗り、自転車利用、公共交通利用、職住近接、地域中核への集中・人口密度の増大という正の効果が生まれる。</p> <p>まずは、パークアンドライドのより高い充実、公共交通の乗り放題共通定期券など、</p>	<p>公共交通に関する施策については、「地域公共交通計画」にて利用促進や利便性向上の方針を位置付けています。パークアンドライドは、しなの鉄道や別所線の駅において取り組んでいるところです。公共交通の共通券等については、関係部局と共有し、今後の検討課題とします。</p>

		自動車と公共交通の乗り換えをよりしやすくする制度の導入から始めたらいかがか。	
6	P32 都市計画 道路網の 見直し	<p>「道路補修・更新費用の過剰負担の抑制」、「温暖化対策のためのセメントや鉄鋼使用量の抑制」という観点も加えたらどうか。</p> <p>現状の道路網を維持するだけでも、現在の倍の補修費用が毎年かかるとの計算が出ている。教育や福祉の最重要予算を削ることがないように、計画を見直してほしい。</p>	<p>いただいたご意見の具体的な施策については、関係部局と共有し、個別計画で対応してまいります。</p> <p>道路・橋梁については、「上田市舗装長寿命化修繕計画」、「上田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき修繕を進めています。当該計画では、維持管理費用の抑制のために「予防保全型」の維持管理を進めていくこととしています。</p> <p>今後も財政状況を踏まえて、適宜計画の見直しを行います。</p>
7	P32 上田地域 30分(サン マル)交通 圏	<p>「上田地域30分(サンマル)交通圏」の確立は自家用車前提の道路整備のようである。以前からあるこの構想は前時代的発想だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、道路整備が第一であるという考えは転換をして、持続可能で総合的なまちづくりを目指していく計画としています。上田地域30分(サンマル)交通圏の構築は、救急搬送・防災対策に資するほか、上田駅と各拠点のネットワークの強化により、バスなどの公共交通網の充実や地域産業の活性化を図るための施策の一つとして捉えております。</p>
8	P33 都市計画 道路	<p>都市計画道路 諏訪部伊勢山線、(仮称)川原柳常田線</p> <p>上記2つの道路は、まちなかに属し、昔からの商店も立ち並ぶ通りであるが、現在は車の交通が激しく、安心して歩行や車椅子、自転車での通行ができない。幹線道路と位置付けるべきではなく、近隣の国道に自動車は誘導して、当該道路は速度制限を20km以下などに厳格に規制したり、歩道、自転車専用レーンを拡充したりするなどして、居心地のよく魅力的なまちなかとするべき街道である。幹線道路網から外すことを提言したい。</p>	<p>都市計画道路 諏訪部伊勢山線、(仮称)川原柳常田線については、インターチェンジから中心部までの幹線道路として位置付けています。</p> <p>当該道路はご意見のとおり、車の通行が激しく自転車や歩行者が安心して通ることが難しい状況です。まちなかの道路につきましても、メリハリのある道路の位置づけが必要であることから、いただいたご意見は関係部局と共有し、安全・安心な道路空間を構築してまいります。</p>
9	P36 自家用車 に頼らな い移動手 段	<p>自家用車に頼らない移動手段の充実や公共交通の円滑な利用に関しては共感できる内容である。</p> <p>しかし、目標1、方針2の「道路網の整備」と矛盾している点も多い。人口動態や財政の有効利用を考えると、目標2方針1</p>	<p>市としては、本計画案に示す「ネットワーク+多極・拠点集約型都市構造」の実現に向けて、自家用車だけに頼らない社会を推進・促進します。</p> <p>しかし、各地域の拠点間を結ぶネットワークを形成するためには、主要幹線道路の整</p>

		を主軸に据えて、シェアとケアを大事にした施策に統一する必要がある。	備・維持が必要であり、どちらも重要と考えております。
10	P42 森林	再造林にかかる下草刈り作業のコストを考えると、天然更新を目指す方法を中心に据えるべきではないか。 しっかりとした作業道を整備する方針の記載が必要ではないか。	いただいたご意見は、適切な森林環境整備を推進するため、関係部局と共有してまいります。
11	P47 産業	従業者数のデータを見ると第二次産業よりも第三次産業の方が多い。サービス化や情報技術化などの大きな産業構造の転換の中、製造業だけを基幹産業として位置付ける方針で今後も良いのか。 産業振興策として、「若者にも魅力ある企業の誘致や効率的な生産活動を支えるために、産業への支援や交通アクセスを整えます。」が方針として必要である。	上田市の製造業従業者数は、県内で第2位となっており、市内の全産業の中で最も多い割合を占めていることから、現状では基幹的な産業となっています。 いただいたご意見は、関係部局と共有し、今後の社会情勢も踏まえて検討してまいります。

エ その他

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	P3 人口の推移	人口の推移・将来推計で 2045 年に 129,340 人とだけ記載されているが、より魅力のある上田市として他市町村からどのようにして人を呼び込む(転入)などの観点からの数値計画を具体的に盛り込むべきではないか。	市としても出生率の向上だけではなく、社会移動の増加に資する施策についても重要と考えており、「第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画」(第2期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略)の数値目標として「合計特殊出生率」のほかに、「社会移動(転入者数－転出者数)」を設定しています。 なお、具体的な目標人口の数値計画については、「上田市版人口ビジョン」で設定しております。
2	P10 課題	幹線道路のことが最初に書かれているが、市としては公共交通よりも道路が優先なのか。公共交通や生活道路のことを先に書いてほしい。	市としては、本計画案に示す「ネットワーク＋多極・拠点集約型都市構造」の実現に向けて、公共交通等による自家用車だけに頼らない社会を総合的に目指しており、課題の記載順は優先順位ではございません。
3	P10.32 道路整備	課題 2 の「幹線道路などの交通ネットワークの構築」「生活道路の整備」と、「公共交通の充実と利用促進」は両立するのか。	市としては、本計画案に示す「ネットワーク＋多極・拠点集約型都市構造」の実現に向けて、公共交通等により自家用車だけに頼らない社会を推進・促進してまいります。が、総合的な観点において、各地域の拠点間を結ぶネットワークを形成する主要幹線道路の整備・維持も重要であると考えております。

4	P10,32 道路整備	<p>都市計画道路の整備率の低さが問題となっているが、今後すべて実施する予定であるか。人口減少時代にインフラを増やすことには慎重になるべきであり、時代の流れに合わせて大きく見直しが必要である。</p> <p>未整備の中でもっとも古いものは何年前の計画か。</p>	<p>都市計画道路の未整備区間については、地域の要望や優先順位を踏まえて整備を進めていく方針ですが、今後の社会情勢の変化に伴い、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。(P32(1)基本方針)</p> <p>なお、未整備の都市計画道路の中で最も古いものは昭和8年(約90年前)に当初計画決定されたものです。</p>
5	P13 都市構造	<p>既存ストックを活かすのは良いと思う。旧図書館を活用してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。</p>
6	P13 都市構造	<p>集約化によって無住地の拡大を目指すのであれば反対である。</p>	<p>「ネットワーク+多極・拠点集約型都市構造」の実現に向けて、各地域拠点の都市機能や居住を維持する方針であり、無住地の拡大は抑制してまいります。</p>
7	P14 将来都市構造	<p>生活複合拠点の方針に対して、市民から外れた意見や行為があった時にきちんと筋を通してお話しできるかが大事になってくる。</p> <p>地球環境への配慮のために市街地拡散の抑制は必須の施策だと思うが、そのために地域の人が無理をするという印象を与えかねないので、「地域の持続可能性と活性化のためにも」と加えたらどうか。</p>	<p>生活複合拠点については、P14に示しています「ネットワーク+多極・拠点集約型都市構造」を形成する上で必要不可欠な位置づけであり、立地適正化計画とも連携を図りながら、取組を推進してまいります。そのためには地域をはじめ市民の皆様の協力も必要になりますので、今後ともご理解いただけるように努めてまいります。</p> <p>なお、地域の持続可能性・活性化については、P14の3段落目・P24の目標別都市づくり方針の中で記載しています。</p>
8	P19 将来都市のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで実施するのか ・道路拡幅の見込みはあるか ・2044年までのロードマップでいつを想定しているか ・財源の見込みはあるか 	<p>歩きたくなる街づくりについては、上田駅周辺の都市機能集積拠点(中心市街地ゾーン)を想定しております。</p> <p>現段階では具体の事業計画、ロードマップは検討しておりませんが、本計画案の方針を踏まえ関係部局と連携のうえ、国の補助制度を活用しながら事業の実現に向けて検討してまいります。</p>
9	P32 道路・交通	<p>道路の新設は慎重に行ってほしい。維持費や改修費がかかり続けることになる。生活道路の修繕は優先的に行ってほしい。</p> <p>電車は上下分離し、線路は県や市が管理を行うことも検討していただきたい。</p> <p>バスは、大切なインフラとして、赤字でも運行してほしい。</p>	<p>道路の新設については、財政状況や社会情勢も踏まえて整備の必要性を十分に検討しております。都市計画道路の未整備区間については、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。</p> <p>公共交通の維持・確保に向けた取組は「地域公共交通計画」にて位置づけており、いただいたご意見は、関係部局と共有して</p>

			まいります。
10	P32 道路網の整備	雇用に関しては、土木工事において、歩道・自転車レーンの拡充、電車やバス網の充実、建物の断熱改修や再エネ設備の建設などもある。さらに業務転換として、福祉や看護、公共サービスの拡充、さらにブランド価値を上げるためのクリエイティブ産業の育成などで今後多くの雇用が必要と見込まれる。	いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。
11	P53 土地利用	さまざまな用途が混在しているからこそ、多様な人たちがあらゆる時間・曜日に集うというメリットがある。なぜ、用途の混在を解消する必要があるか。	土地利用の混在については、市全体的に解消するというものではありません。例えば、計画案 P25 の複合用途系ゾーンでは様々な用途の施設の混在を許容しながら、日常生活の利便性向上と活力を生む土地利用及び機能形態を誘導する方針としています。 ご指摘の箇所については、住宅地を基本としたエリアにもかかわらず、工場等が混在しており、居住環境が悪化（騒音、振動等）するおそれがあります。市としてはこのような地区では基本的に不適切な用途の混在を防ぎ、居住環境を保全する方針としています。
12	P86 （仮称）道の駅まるこ	「（仮称）道の駅まるこ」に関して、実行方針はいつどのように決まったのか。 鹿教湯温泉郷など既存の集落の施設の改修の方が良いかと思うが、どう考えているか。	地域の皆様のご意見を反映した有効な施設建設に向けて、いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。
13	クリーンセンター	上田クリーンセンターについて、生田トンネル付近に上田市第2クリーンセンターとして、先駆けて建設したらいかがか。	本計画案において、上田クリーンセンターなどのごみ処理施設については、「老朽化や維持管理費用などの状況を踏まえて、施設の統合や新たな広域ごみ処理施設の整備について、広域市町村と連携した推進を行います。」と記載しています。 いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。
14	養豚場	太郎山の養豚場について、地区住民が不快な思いをしているため、養豚場を他地域に移転したらいかがか。	いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。

15	上田駅口 一タリー	<p>①お城口広場の階段の構造について、平にして使い道を多くした方が良い。</p> <p>②30分無料駐車場コーナーは廃止が良い。駅の出入口に近い場所に障がい者駐車場を2か所残して、それ以外の場所は、温泉口と同じ使い方にしたら良い。</p> <p>③進入禁止の標識のマークが消えている。改善してほしい。</p> <p>④タクシー乗り場の看板が分からない。案内看板として機能を十分発揮できるように作り替えてほしい。</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を定めるもので個別の施策や事業を具体的に記載するものではありませんが、本計画案では、上田駅の交通結節機能の強化や利用促進を図る方針としており、いただいたご意見は、関係部局と共有してまいります。</p>
16	EV化について	<p>計画の中にEV化について組み込んでほしい。街中にEV充電器が必要であり、公共施設や集合住宅にもEV充電器がついてほしい。</p>	<p>EVの充電設備等については、市として今後とも取り組んでいく方向であり、「上田市地球温暖化対策地域推進計画(R5.3)」において位置付けられています。</p> <p>都市計画マスタープランは、主に都市施設(道路、公園、上下水道等)に関する整備・開発・保全の方針を示したものであることから、EVの充電設備の整備については本計画への記載は行わないこととします。</p>
17	ロードマップ	<p>計画全体に現実味を与えるためのロードマップ及び施策はあるか</p>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を定めるもので個別の施策や事業、ロードマップを具体的に記載するものではありません。具体的な実施計画については、事業の実現に向けて別途検討してまいります。</p>
18	関連計画	<p>・上田市スマートシティ化推進計画 ・上田市地域公共交通計画 ・上田市地球温暖化対策地域推進計画 ・上田市公共施設マネジメント基本方針等、上田市の他の計画や方針において、本計画案と関連している内容を開示してほしい。</p>	<p>主な関連計画と本計画案の関連性について以下に示します。</p> <p>●上田市スマートシティ化推進計画 ・施策 ICT を活用した避難情報の発令と発信 ⇒P38:「<都市づくりの目標2>方針1(2)災害に強い都市づくりの整備方針」など</p> <p>●上田市地域公共交通計画 ⇒P38:「<都市づくりの目標2>方針1(3)だれもが利用しやすい公共交通網の整備方針」の各方針</p> <p>●上田市地球温暖化対策地域推進計画 ・P14:「5—3 将来都市構造」</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・P38:「<都市づくりの目標2>方針1 (3)だれもが利用しやすい公共交通網の整備方針」など ●上田市公共施設マネジメント基本方針 ・P41:「<都市づくりの目標2>方針2 (4)公共公益施設の整備方針」 ●上田市立地適正化計画 ・P14:「5-3 将来都市構造 (1)都市構造の基本的な考え方～『ネットワーク+多極・拠点集約型都市構造』の形成～」など
19	イラストや図、写真	イラストや図が多用されていて分かりやすかった。自治会や教育機関などでそのまま題材として使える。	評価のご意見ありがとうございます。ぜひ使用していただけたらと思います。